

ホンドキツネ *Vulpes vulpes japonica* に寄生して いた *Mesocestoides paucitesticulus* について

久 木 義 一

大分県別府市

(昭和52年1月10日 受領)

緒 言

Mesocestoides 属条虫はいろいろなホ乳類及び鳥類に寄生する条虫である。外国ではキツネから数種の *Mesocestoides* が得られているが、ホンドキツネからは未記録である。大分県産のキツネ4頭から多数の *Mesocestoides* 属条虫の寄生が認められた。染色標本を作成して計測した結果 *Mesocestoides paucitesticulus* であることがわかつたので報告する。

材料および観察

キツネはハンターが狩猟期間中に捕獲したものをマイナス30度に冷凍保存した。No. 1, No. 2のキツネは大分県竹田市産, No. 3は大分県直入郡久住町産で共に1976年1月6日に捕獲, 2月20日に解剖, キツネ No. 4は大分県大野郡犬飼町産, 1976年2月3日捕獲, 10月9日に解剖し, それらの小腸から多数の条虫を得た。キツネ No. 1からは長さ260mm~400mm, 幅1.1mmの虫体が多数, No. 2からは長さ450mm, 幅1.0mmのもの1隻, No. 3からは長さ50mm~120mm, 幅1.1mmのもの7隻, No. 4からは長さ50mm~353mm, 幅0.9mmのもの13隻がそれぞれ寄生していた。以上の各虫体の中から数隻ずつを圧片, 固定し, ハイデンハインの鉄ヘマトキシリン染色し, 虫卵は末端片節の副子宮内より取り出して計測した。固定染色標本の長さ320mm, 幅1.1mmの虫体では総片節数は763を数え, 頭節は長さ0.455mm, 幅0.350mm, 吸盤は0.126×0.098mm, 頸部は長く6.2mm, 幅0.182mm, 未成熟片節は縦径0.2~0.23mm, 横径0.42~0.45mm, 片節数208。完熟片節は265節からで縦径0.25mm, 横径0.44mm, 辜丸は滲透調節管の内外に分布するが大部分は内側にある。その数は34~38個で直径0.021~0.042mm。陰莖囊は縦径0.112mm, 横径0.035~0.042mm。子宮は大きな棍棒状を呈

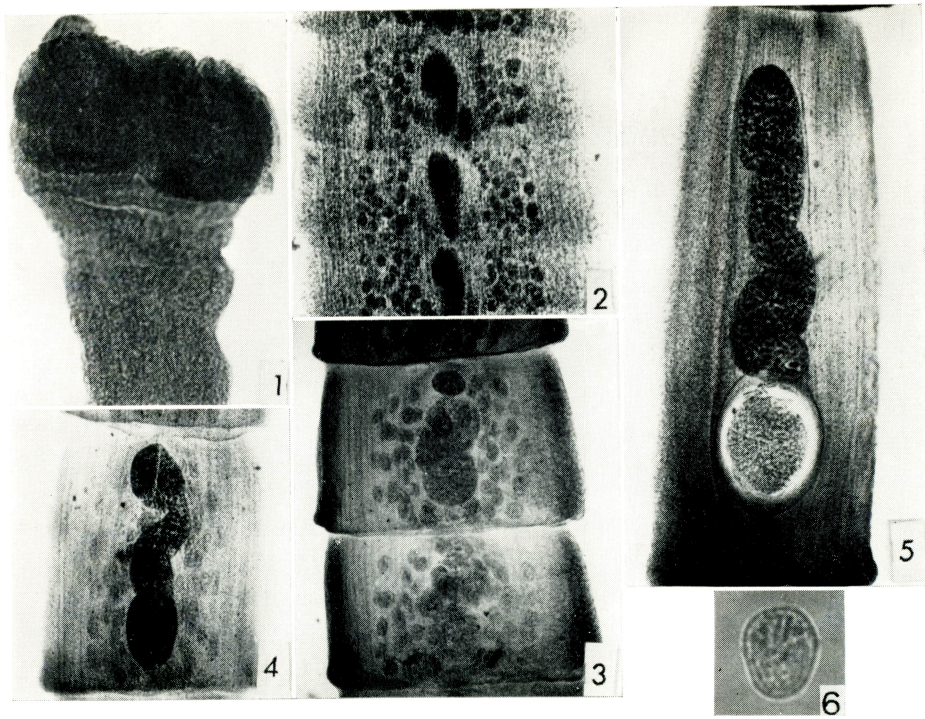
し, 縦径0.140, 横径0.021mm。卵巣は0.070×0.035mm, その腹面に0.028×0.021mmの大きさの卵黄腺がある。421片節あたりから老熟片節となり, その辺りでは縦径1.5mm, 横径0.9mmである。680片節では辜丸, 卵巣, 卵黄腺などが認められる。子宮はS字状で長さは0.78~0.80mm。その下部に副子宮がある。縦径0.525~0.553mm, 横径0.290~0.304mm。754片節からは子宮は認められなくなり副子宮のみとなる。その内には虫卵が充満している。末端片節は縦径1.5mm, 横径1.01mm, 副子宮は0.345~0.387mm×0.290~0.318mm。虫卵は0.025~×0.028mm~0.032mm, 六鈎幼虫は0.021mm×0.025mm, 3対の六鈎は0.14mmある。

考 察

虫体を観察した結果 *Mesocestoides* 属条虫の中で同定に必要な主なものは辜丸の数や, その配列のし方である。*Mesocestoides litteratus* と *Misocestoides paucitesticulus* の両者は辜丸の数やその配列の状態が極めて類似している。*M. litteratus* については Witenberg (1934) の記載によれば頸部が短かく成熟片節があらわれるのが非常に早く, 一方 Müller (1928) によれば体長30~80mm, 片節数約80で頸部は非常に短かく, 長さ0.4~0.5mm, 幅0.2mmで, 辜丸の数は30~45個, 直径0.05~0.07mmである。*Mesocestoides paucitesticulus* では Sawada and Kugi (1972) によると頸部は12.5~13.8mm, 幅0.124~0.138mm, 久木 (1973) では10~15mm, 幅0.05~0.09mm, 辜丸数は32~38個, 直径0.056~0.063×0.042~0.045mmあり, 本種は *M. litteratus* でなく *M. paucitesticulus* と同定した。

結 語

1976年1月6日に捕獲し2月20日に解剖, 1976年2月3日に捕獲, 10月9日に解剖した大分県産キツネ4頭の



Explanation of Figures

- Figs. 1-6 *Mesocostoides paucitesticulus*
- | | |
|----------------------|--------|
| 1. Scolex | (×400) |
| 2. Immature segments | (×100) |
| 3. Mature segments | (×100) |
| 4. Gravid segment | (×100) |
| 5. Senile segment | (× 40) |
| 6. Onchosphere | (×400) |

小腸から多数の条虫を得、圧片、染色標本を作成しその内外を観察計測した結果 *Mesocostoides paucitesticulus* であることが判明した。ホンドキツネに寄生していた *Mesocostoides* 属条虫の最初の寄生例であり、キツネもまたタヌキと同様 *Mesocostoides paucitesticulus* の宿主であることが判明した。

本条虫の同定について奈良教育大学沢田勇博士に種々の御助言、御指導をたまわり深謝致します。

文 献

- 1) 伊藤二郎・渡辺強三・野口政輝・望月 久・河野鎮雄(1959)：静岡県下におけるいわゆる野犬の寄生蠕虫 (5) 条虫類附総括。寄生虫誌, 8, 649-654.
- 2) 久木義一(1973)：別府市産タヌキ *Nyctereutes procyonoides* に寄生していた *Mesocostoides paucitesticulus* について。寄生虫誌, 22, 5, 300-302.
- 3) Müller, J. F. (1928) : The genus *Mesocostoides* in mammalia. Zool. Jahrb. Syst. Ökol., 55, 403-418.
- 4) Sawada, I. Kugi, G. (1972) : A new cestode, *Mesocostoides paucitesticulus*, from a badger, *Nyctereutes procyonoides*, in Japan. Jap. J. Parasit., 22, 45-47.
- 5) Witenberg, G. (1934) : Studies on the Cestode genus *Mesocostoides*. Arch. Zool. Ital., 20, 467-509.

Abstract

MESOCESTOIDES PAUCITESTICULUS FROM JAPANESE WILD
FOX, VULPES VULPES JAPONICA IN JAPAN

GIITI KUGI

(Beppu City, Oita 874, Japan)

A number of cestodes belonging to the genus *Mesocestoides* were found in the small intestine of Japanese fox, *Vulpes vulpes japonica*, captured in Oita Prefecture, Japan. After a careful investigation on stained preparation, they have been identified with *Mesocestoides paucitesticulus* Sawada, 1973. This is the first record of *M. paucitesticulus* from the wild Japanese fox, *Vulpes vulpes japonica*.